



平成29年7月7日

各位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号:4588)  
問 合 せ 先 取 締 役 紙 谷 賢 志  
経 営 管 理 担 当  
(TEL.03-5472-1578)

## テロメライシン®(OBP-301)食道癌 Phase I 企業治験 第一例目への投与開始のお知らせ(開示事項の経過報告)

当社は、食道がんを対象とする腫瘍溶解ウイルス テロメライシン®(OBP-301)の Phase I 企業治験において、第一例目の被験者への投与が開始(FPI: First Patient In)されましたので、お知らせいたします。

本治験は、外科手術による切除や根治的化学放射線療法が困難な食道がん患者を対象として、放射線治療併用によるテロメライシン®の安全性を評価することを目的とします。また、併せて有効性・腫瘍免疫応答の評価を実施する予定です。治験実施施設は岡山大学病院と国立がん研究センター東病院の2施設で、最大12例への投与を行う予定です。なお、既に、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学の藤原俊義教授による同疾患を対象としたテロメライシンと放射線の併用に関する医師主導臨床研究が進行しておりますが、今回のPhase I 臨床試験は、当社が実施する企業治験です。

テロメライシン®は、現在、米国でメラノーマ Phase II 臨床試験の一例目投与準備が進められているほか、台湾・韓国で肝細胞がん Phase I / II 試験が実施されています。国内では、前述の岡山大学での食道がんを対象とした医師主導臨床研究の他に、国立がん研究センター東病院ほかにおいて、進行性又は転移性固形がん患者を対象とした抗PD-1抗体ペンブロリズマブとの併用による医師主導治験の実施準備が進められています。

本件による平成29年12月期業績への影響はありませんが、当社は、「がんを切らずに治す」というコンセプトに基づき開発を進めているテロメライシンの臨床開発を一層加速させ、医療現場の一助となるがん治療法の発展に貢献していくべく、今後も日々の努力を続けてまいります。

以 上